

秋期特別展

十九路に道を求めた棋士

—木谷 實—

会期 十月一日～十一月二十九日



木谷實（きたに・みのる）九段が惜しまれて亡くなってから20年余の月日が経ちます。木谷實九段は、明治42年、神戸市に生まれ、日本棋院理事、日本棋院棋士会長を歴任しました。木谷實九段は、昭和12年市内桃浜町に移り住んでから、自宅に囲碁道場を開き、多くのプロ棋士を育てます。そして現在、木谷門下のプロ棋士は50人を超えます。こうした木谷氏の足跡と人物像を紹介する目的で、来る10月1日から11月29日までの2カ月間、「十九路に道を求めた棋士—木谷 實—」をテーマとした特別展を開催します。この特別展では、木谷九段の遺品や棋譜、棋書のコレクション等を展示する予定です。

関連事業

●「木谷道場を語る—平塚木谷道場の日々—」

日 時：9月7日（土）14時～16時

会 場：平塚市中央公民館ホール

出席者：大竹英雄九段、加藤正夫九段、
戸沢昭宣九段、筒井勝美四段

司 会：小川誠子六段

申込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒254 平塚市追分1-20 平塚市中央公民館へ。

定 員：先着700名

また、11月3日（日）には、木谷門下のプロ棋士15名が木谷ファン・囲碁ファンの指南をする多面打ちの会が市内で開かれます。くわしいことは、10月号の「あなたと博物館」をご期待ください。

●「木谷實特別展記念公開対局会」

第1部「木谷實思い出の名局・名場面」

解説者：石田芳夫九段

第2部「木谷實特別展記念公開対局会」

対局者：張 栩四段 対 小林泉美初段

解説者：小林光一九段

記 録：酒井真樹五段・金沢秀男三段・
穂坂 麟二段・河野 臨初段・
袴 陽子初段

日 時：10月10日（木）13時～16時30分

会 場：平塚市中央公民館ホール

申込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒254 平塚市浅間町12-41 平塚市博物館へ

定 員：先着700名



市内桃浜町の木谷道場にて

秋期特別展

十九路に道を求めた棋士 - 木谷 實 -

会期：10月1日（火）～11月29日（金）

~~~~~ 特別展記念イベント案内 ~~~~~

### 木谷實特別展記念多面打大会

市民200名と木谷門下棋士との多面打を行います。参加者は、希望の手合割（置碁）で対局できます。手合割りの目安は、入門者と級位者は9～8目、有段者は7～3目です。なお、多面打に参加できない方々にも囲碁に親んでもらうため、当日会場にて九路盤囲碁入門教室（13:00と15:00の2回。先着50名に紙製九路盤セット進呈）、詰め碁コーナー、囲碁グッズコーナーを開きます。

- ・期 日：11月3日（日）
- ・時 間：13:30～16:00
- ・会 場：紅谷町パールロード
- ・出席者：木谷門下会全員参加
- ・定 員：200名。100名を公募し、申込多数の場合は（対局者）抽選します。残りは推薦参加者と当日の飛び入り参加者（約20名）です。飛び入り参加の場合は、当日13:00に会場にて受付を行い、多数の場合は抽選します。
- ・申 込：往復はがき（1人1枚）に住所、氏名、年齢、電話番号、および棋力（推定でかまいません。不明の方は囲碁歴年数を記してください）を記入し、博物館「多面打大会」係へ。対象小学生以上。

主催／平塚市博物館 後援／日本棋院・木谷門下会  
協力／紅谷町パールロード商店街振興組合・平塚市役所囲碁クラブ・平塚囲碁連盟

☆応募先：〒254 平塚市浅間町1-2-41 平塚市博物館 Tel.0463-33-5111

### 特別展記念木谷門下一日指導碁教室

木谷門下会の棋士による初心者・有段者への指導碁教室を開きます。各回3名の棋士が出席し、1名の棋士が3人と指導対局します。1日2回実施します。

- ・期 日：10月6日、13日、20日、27日、11月10日、17日、24日（いずれも日曜日）
  - ・時 間：13:00～16:00
  - ・会 場：平塚市博物館講堂
  - ・参加：当日12:00～13:00に博物館で受付をし、18名を超えた場合は抽選とします。なお、2日目からの抽選は未当選者を優先します。
  - ・定員：1日18名
- 主催／平塚市博物館 後援／日本棋院・木谷門下会

### 特別展記念囲碁入門教室

- ・期 日：10月13日（日）、20日（日）
  - ・時 間：10:00～12:00
  - ・講師：柴田寛二段
  - ・会 場：平塚市博物館講堂
  - ・申 込：電話で直接平塚市博物館へ。その際、住所、氏名、年齢、電話番号を伝えてください。
  - ・定員：先着30名
- 主催／平塚市博物館 後援／日本棋院・木谷門下会

\*特別展に関連して実施されるイベントは、木谷門下会所属棋士の方々全員にスケジュールの合間を縫ってご参加いただいたものです。

十九路に道を求めた棋士

木谷 實特別展記念イベント開催要項

本特別展に関連して実施される下記イベントは、木谷門下会所属棋士の皆様方全員がスケジュールの合間を縫ってご参加いただいたものです。

(予 告)

「木谷 實特別展記念多面打大会」

期 日：11月3日(日)

会 場：紅谷町パールロード(雨天の場合：教育会館大ホール)

時 間：午後1:30~4:00

内 容：多面打(市民200名と門下棋士との多面打)、初心者入門コーナー(九路盤囲碁入門教室13:00と15:00、先着50名に紙製九路盤セット進呈) 詰め碁コーナー、囲碁グッズコーナー(木谷門下会)を設け、多面打ちに参加できない方々にも囲碁に親しんで貰う。

出席者：大竹英雄九段・戸沢昭宣九段・加藤正夫九段・上村邦夫九段・石博郁郎九段・佐藤昌晴九段・小林 覚九段・久島国夫九段・芦葉勝美五段・本田幸子六段・小山嘉代三段・木谷好美初段・井上国夫八段・額謙五段・信田成仁六段・園田泰隆九段・小林千寿五段・大戸省三五段・大矢浩一八段・大森泰志六段・鈴木伊佐男五段・酒井真樹五段・金沢秀男三段・高橋秀夫四段・小松英子三段・徳坂 蘭二段・袴 陽子初段・小林泉美初段・梅沢由香里初段・柴田寛二二段…参加確定。

主 催：平塚市博物館

後 援：日本棋院・木谷門下会

協 力：紅谷町パールロード商店街振興組合・市役所囲碁クラブ・平塚囲碁連盟

応募要領：対局者は全部で200名。内100名は推薦募集(子供、女性、お年寄り、地元)と当日の飛び入り人員(当日13時に会場で受付、多数の場合は抽選)とし。残り100名(応募者が100名を超えた場合は抽選)を公募します

募集期間：10月1日から10月15日迄(必着)

往復はがき、1人1枚、小学生以上(以上厳守)に住所、氏名、年齢、電話番号、及び棋力(推定で可、不明の方は囲碁歴…年)を記入して下さい

参加者は、本人希望の手合割(置碁)で対局できます。尚、手合割の目安は、入門者・級位者…9~8目、有段者…7~3目です

応 募 先：〒254 平塚市浅間町12-41 平塚市博物館 多面打大会係へ

問 合 せ 先： 0463-33-5111へ

(予 告)

特別展記念木谷門下一日指導碁教室

期 日：10月6、13、20、27日  
11月10、17、24日  
の各日曜日

会 場：平塚市博物館講堂

時 間：午後1：00～4：00

出席者：10月 6日 佐藤昌晴九段、浅野英昭六段、柴田寛二二段  
10月13日 久島国夫九段、大森泰志七段、鈴木伊佐男六段  
10月20日 石博郁郎九段、酒井真樹六段、小松英子三段  
10月27日 戸沢昭宣九段、大矢浩一八段、禰 陽子初段  
11月10日 小川誠子六段、徳坂 繭二段、金沢秀男四段  
11月17日 加藤正夫九段、前田良二六段、河野 臨二段  
11月24日 宮沢五朗九段、大木啓司五段、高橋秀夫四段

内 容：木谷門下会の棋士による初心者・有段者に対する指導碁教室（無料）

主 催：平塚市博物館

後 援：日本棋院・木谷門下会

応募要領：1名の棋士が一度に3人と指導対局、1日2回実施。従って、1日につき  
3棋士×3人×2回=18人が対象となります

応募方法：希望者は当日12時から13時迄の間に受付をし、18名を超えた場合は  
抽選とします

尚、2日目からの抽選は、未当選者を優先いたします

(予 告)

特別展記念囲碁入門教室

期 日：10月13日（日）、20日  
（日）

会 場：平塚市博物館講堂

時 間：午前10時～12時

講 師：柴田寛二二段

内 容：囲碁の入門教室

主 催：平塚市博物館

後 援：日本棋院・木谷門下会

応募方法：電話で平塚市博物館へ直接。住所、氏名、年齢、電話を言って下さい  
定員先着30人

# 木谷實特別展記念

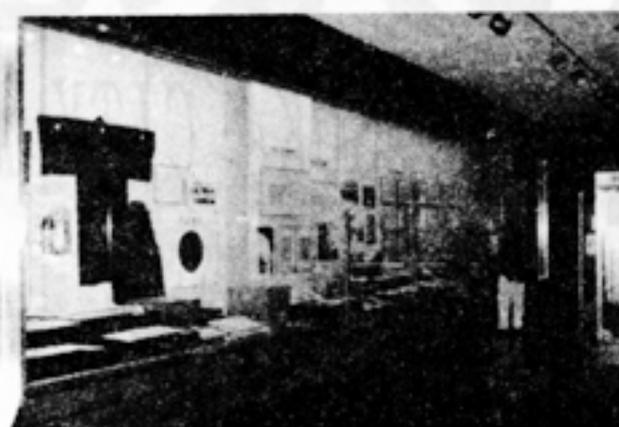


# 多面打大会開かれる

11月3日文化の日は紅谷町パールロード商店街を舞台に200名の「特別展記念多面打大会」が実施されました。当日は、心配された前日からの雨も上がり、曇天ではありましたが、予定には無かった武宮正樹名人の参加も得られ、会場のパールロードは終日囲碁一色に染まりました。200名の多面打ちは、現在日本記録でもあり、パールロード商店街一杯に伸びた対局席を取り囲む人々の波は、二重三重にもなり、多くの人が囲碁を満喫した一日になりました。

## 「十九路に道を求めた棋士-木谷實-」展の開催を終えて

博物館では、秋の特別展に「木谷實を抜きに戦前・戦後の碁界を語ることはできない」といわれた人物に焦点を合わせ、10月1日から11月29日までの約2カ月間「十九路に道を求めた棋士-木谷實-」展を実施いたしました。この間、特別展示を見に来てくださった方々は、およそ12,000人余、前年同期の入館者を2,000人余りも上回るものでした。



▲木谷實展会場

プロ棋土木谷實九段が惜しまれて亡くなってから20年余りの月日が経ちます。木谷實九段は、昭和12年市内に移り住んでから、氏が亡くなる昭和50年までのおよそ40年間、自宅に囲碁道場を開き、多くのプロ棋士を育てます。こうした事実を知る人々は、現在、次第に少なくなる傾向にありました。したがって、是非、特別展を契機に木谷實の囲碁にかけた情熱を知っていただきたく、碁界の発展に尽くした人物の一人として囲碁文化を含め紹介しました。

ところで、今回の特別展は、特別展に関連する記念行事を多くの木谷門下プロ棋士のご協力を得て実施することができました。9月7日の「木谷道場を語る-平塚木谷道場の日々-」と題する講演会では、定員700名の中央公民館に囲碁愛好者だけでなく全く囲碁を知らない人たちも詰めかけてほぼ一杯になり、木谷門下生の内弟子時代の話に聞き入りました。

10月10日の「木谷實特別展公開対局会」では、同じく中央公民館を会場に、二部構成で行われ、第一部は木谷實の「思い出の名局・名場面」を石田芳夫九段の解説、第二部は張栩四段対小林泉美初段の対局が小林光一九段の解説で実施されました。

11月3日の「特別展記念多面打大会」は、表紙でお伝えしたようにパールロードは多くの囲碁ファンで溢れました。

この他、10月と11月の毎日曜日は、木谷門下棋士により博物館で「一日指導碁教室」が実施され、遠く神戸から指導を受けに博物館を訪れた人がいたほどでした。さらに10月13・20・27日の「囲碁入門教室」にも30名を超える市民の方々が参加され、この2カ月間、博物館をはじめ、平塚市は「囲碁の町」になったとって言い過ぎではない様相を呈しました。



▲座談会（9月7日）



▲公開対局会（10月10日）